令和７年度　社会福祉法人五倫会　自己評価・施設関係者評価

１．本園の教育・保育目標

・健康で美しい心
・礼節を尊ぶ素直な心
・創造力のある豊かな心
・たくましく進取の心
・いたわりのある優しい心

２．本年度取り組む重要事項

園児の安全な環境を構成し、子ども達の主体的な保育が出来るよう十分な配慮をする。
①より多くの保護者が納得していける行事を模索し計画立案する。
②地域や関係諸団体との協力体制を持ち、様々な場所で保育の環境を設定する。
③しっかりとした話し合いの中で計画書が作成され、毎日の活動が計画をもとに行われているか。

３．具体的な目標及び計画

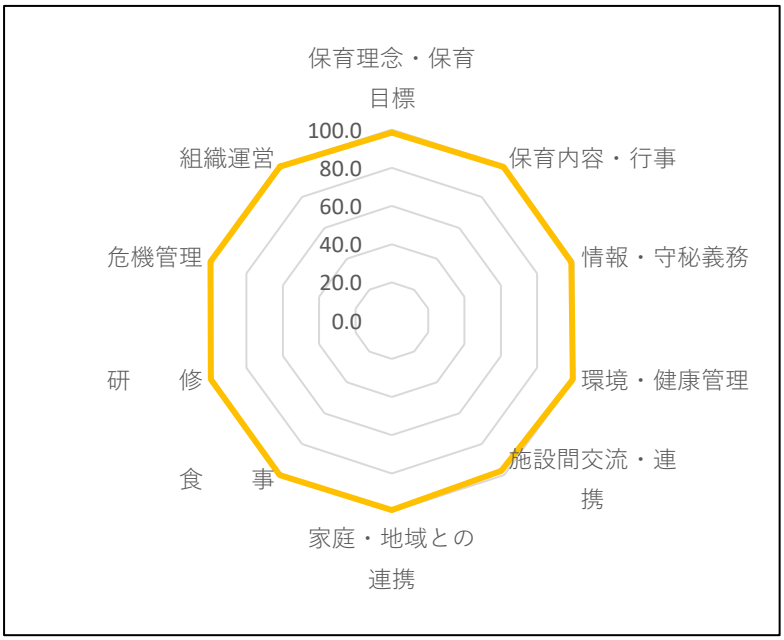
認定こども園法の内容を再度確認し、研修への参加、園内研修の充実、職員の共通理解を深め、教育・保育の質の向上を図るとともに、保護者理解や地域との繋がりがより向上できるよう園が担う役割について検討する。

４．自己評価結果に対する関係者評価（5段階評価）

５…よくできている　４…概ねできている　３…どちらともいえない　２…やや改善が必要　１…出来ていない

評価区分	内　　容	美郷	中郷	評定	意　見
保育理念・保育目標	保育理念が明文化されているか。	4.96	5	4.98	・会議等で保育理念などの周知はしているが、入社した職員にしっかりと理念が浸透するように施設内での研修指導に力を入れた方がいい。
	保育理念が職員に周知されているか。	4.96	5	4.98	
	保護者に対し、保育理念や保育方針が周知されているか。	4.96	5	4.98	
	保育目標は具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	4.96	5	4.98	
	目標は施設や地域の特色を活かしているか。	5	4.85	4.93	
	目標は、前年度の反省を反映しているか。	5	4.2	4.6	
	目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	5	5	5	
保育内容・行事	指導計画は乳幼児の実態に即して作成されているか。	5	5	5	・保護者の意見を全て受け入れることは出来ないが、保護者の意見を聞きながら更に良い保育を目指していきたいと思う。 ・保護者に安心して預けていただくためにも、保育内容に対する見える化をしていく必要がある。
	計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	4.96	4.95	4.96	
	保護者の願いや意見を取り入れているか。	4.96	4.85	4.91	
	一日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。	4.93	5	4.96	
	子どもの基本的な生活習慣を身につけるため積極的に環境整備しているか。	4.93	5	4.96	
	様々な表現活動ができるように配慮しているか。	4.96	5	4.98	
	身近な自然や社会との関わりが持てるような取り組みをしているか。	5	5	5	
	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮しているか。	4.96	5	4.98	
	環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。	4.96	5	4.98	
	評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	4.96	5	4.98	
	行事の種類や実施回数は適切か。	5	5	5	
	行事のねらいを計画や実施に十分活かしているか。	4.96	5	4.98	
	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	4.96	5	4.98	
情報・守秘義務	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	5	5	5	・まだ、記録などを家に持って帰ったり、時間外にやることが多い。子ども達の保育時間を十分に確保しながらも職員の働き方にも配慮していく必要がある。
	子どもの個別記録は、個人情報保護法に基づき管理しているか。	5	5	5	
	保育業務で知りえた子どもの家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られているか。	5	5	5	
	掲示板、掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。	5	5	5	
	各記録は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	5	4.4	4.7	

評価区分	内　　容	美郷	中郷	評定	意　見
環境・健康管理	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	4.93	5	4.96	・遊具が出しっぱなしになっていることがあるので、職員全員で確認を行いながら、子ども達が遊ぶ場所が安全で使用しやすい環境にあることを守っていかなければならない。
	遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	4.96	4.95	4.96	
	園内の清掃がなされているか。	5	5	5.0	
	健康・安全な生活に必要な習慣や態度の育成のため、保護者に情報を発信しているか。	4.96	5	4.98	
	感染症などを予防するマニュアルがあり、職員に周知し実行しているか。	4.96	5	4.98	
	感染症に関する会議を行い、職員全員に周知しているか。	5	5	5	
施設間交流・連携	他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	5	4.85	4.93	・小学校の教育と保育施設でのコンセンサスを取っていくことは重要であるが、まだ十分とは言えない。今後も小学校との連携を密に取り、子ども達が受ける教育・保育の質を向上させる必要がある。 ・今後は地域から子どもも少なることが予想されるため、施設間の交流も増やしていく必要がある。
	他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	5	4.4	4.7	
	保育者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	5	4.6	4.8	
	参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。	4.85	5	4.93	
	日常的に情報を交換し、交流活動に活かしているか。	4.96	5	4.98	
家庭・地域との連携	行事等で保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	5	4.95	4.98	・保育園という施設が地域の真ん中に存在する必要があり、今後は更に地域と一緒に子育てをしていく必要がある。地域とのつながりを多く持ち、子ども達を地域方がより見てもらいコミュニケーションを取ってもらえるようにする必要がある。
	乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	5	4.9	4.95	
	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	4.96	4.65	4.81	
	送迎の際の対話や連絡事項への記載などの日常的な情報交換に加えて、別に機会をつけて相談に応じて個別面談を行っているか。	5	5	5	
	家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて、関係職員に周知されているか。	5	5	5	
	保育士は日常、保護者や子どもの様子に注視し、虐待の予防や早期発見に努めているか。	5	5	5	
	あらかじめ年間行事の目標を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしているか。	5	5	5	
食事	食事を通して、子ども達が楽しく食べ、意欲を持てるように工夫しているか。	5	5	5	
	アレルギー疾患などを持つ子に対し、主治医からの支持を得て適切な対応を行っているか。	5	5	5	
	間違えないよう、個別にわかりやすく区分して栄養士、調理員同志や保育士と確認しているか。	5	5	5	
研修	研修会・講習会への参加体制の充実を図っているか。	5	4.95	4.98	・研修報告はもう少し解り易いよう工夫したい。
	研修に参加する際には、自分自身が学びえることを考えてから参加しているか。	5	4.95	4.98	
	研修の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の発育に反映させているか。	5	5	5	
危機管理	避難訓練・交通安全指導を行い、計画に基づいて適切に実施しているか。	5	5	5	・医療機関の連絡先はあるがすぐ見えるよにはなっていないので、改善が必要です。
	不審者などに対応する周到な配慮を行っているか。	5	5	5	
	緊急時、慌てずに対応できるように、医療機関の連絡先を表示しているか。	4.93	5	4.96	
	乳幼児の安全を図るため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っているか。	5	5	5	
組織運営	係りや仕事の分担・役割は適切であるか。	4.96	5	4.98	・組織において一緒に働く人の業務を理解することも重要です。みんなの業務を知りながら、協力、助言に力を入れる。
	職員相互がそれぞれに全体的立場を理解し、協力や助言を惜しみなくこども園の運営に活かしているか。	4.96	5	4.98	
	職員の意見を聞いたり、話し合う機会を定期的に持っているか。	4.96	5	4.98	



分野別評価点（100点満点）			
評価区分	美郷	中郷	結果
保育理念・保育目標	99.6	97.3	98.4
保育内容・行事	99.3	99.7	99.5
情報・守秘義務	100.0	97.6	98.8
環境・健康管理	99.4	99.8	99.6
施設間交流・連携	99.3	95.4	97.3
家庭・地域との連携	99.9	98.6	99.2
食　事	100.0	100.0	100.0
研　修	100.0	99.3	99.7
危機管理	99.6	100.0	99.8
組織運営	99.3	100.0	99.6

５．園経営反省点

・令和７年度には施設間の交流や地域への交流という部分に力を入れてきたが、いまだに問題意識があるようなので、更に交流を図り、今後の少子化に対する対策にもしていきたい。
・保護者会などでの情報収集がメインになっており、職員と保護者とのコミュニケーションの場が極端に減少している。施設の中で交流を図れる場所を作り、保護者の悩みや施設に対する不満を聞き、解決に導いていく必要がある。
・以前に比べ、保育に関する書類の簡略化は行っており、かなり効率的にはなっているが、保育の現場では常に子ども達がいるため、書類等を作成する時間が取れない時もあるのが事実。職員間の協力体制を強化し、仕事中の時間を効果的に使えるようにしていく。

６．今後の取り組み課題

・今後は、お泊り保育や交通安全教室なども施設間で交流する場所として捉え、保護者や施設間での相互理解を得ながら、同法人で２施設が一緒に行うことを増やしていく必要がある。地域の交流に関しても園からどんなところで交流を図れるのかを考え、率先して地域との交流を図り、子ども達にとっての居場所をしっかりと確保できるようにしていく。
・現在、各クラスにおいて親子レクという形で交流の場を作っているが、その他に保護者の方がゆっくりとした環境で交流を図れる場を構築する必要がある。
・保育書類の簡略化を行うとＰＤＣＡサイクルの観点から考えても、保育に対する計画と改善が抜け落ちる可能性が高くなる。保育環境と職員の働き方のバランスを見ながら改善をはかっていく。

７．施設関係者からの評価

・職員の年齢層を考えた時に中間層が抜けていることが注意点で、入社したばかりの新入社員への指導が行き届かない可能性がある。気を付けて教育しなくてはならない。
・クマが出ているので外での遊び方を考え直す必要がある。
・今後、りんごクラブや障害児保育など様々なサービスに目をあて法人運営をしていかなければならない。